

MJ進路通信：「進路指導室から、未来へ」



～ようこそ、アップデートされた4年目の案内所へ～

前橋女子高校進路指導部

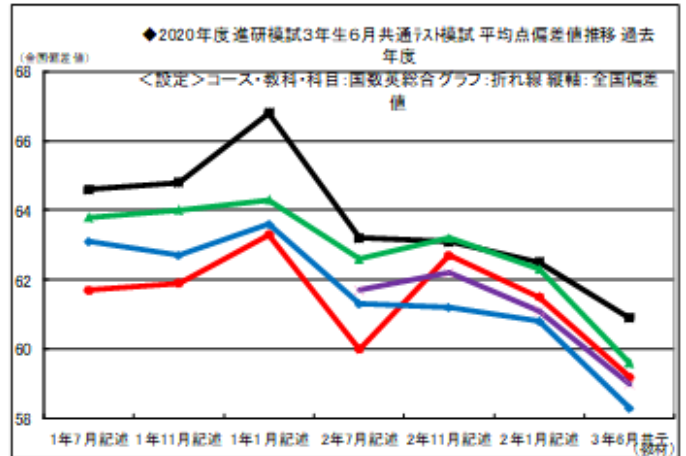
令和8年度 第16号

令和8年6月16日（火）発行

■これからの目標は、期末テストと校外模試

来週から大きな2つの試験（期末考査・校外模試）が始まります。ほぼ連続の実施ですので計画的に準備をしましょう。まずは2つの試験の出題範囲を確認。共通する分野は期末対策がそのまま模試対策になりますね。模試のみの出題分野があれば、真っ先に復習しておきましょう。期末考査後に取り組む時間はありません。中間テストと比べ、科目数も多く試験期間も長いので早め早めの準備が大切になります。今回の学習時間調査からももう期末考査を意識して学習を進めたいものです。

校外模試は、各学年とも「スタートが肝心」です。右のグラフは過去5年間の前女生の学年別模試成績推移を表したのですが、最初の模試で好スタートをきった学年は、途中で多少の変動はあるにせよ、最終的には好位置をキープして受験本番に突入しています（偏差値が徐々に下降するのは母集団の変化によるものでこれはどの学校にも見られる変化です）。校外模試は「先手必勝」。各学年とも「ロケットスタート」目指して頑張りましょう。



■共通テストの募集要項が発表されました

大学入試センターから、令和9年度大学入学共通テストの要項が発表され、試験日や時間割が提示されました。今年度の共通テストは1月16日（土）、17日（日）に実施され、その結果をもとに私大（共通テスト利用入試）や国公立大の出願先を決めていくことになります。同時に令和10年度共通テスト大綱も公開され、現2年生の共通テストの実施が1月15日（土）、16日（日）となることも決定しました。新課程となった共通テストでは、国語や数学の試験時間に変更があったり、新教科「情報」が導入されたり、など変更点も多く、戸惑いの声も多く聞かれました。また、昨年度の共通テストは問題がかなり難化し併願校の可否に大きな影響が出るなど多くの受験生が出願校の選択に悩まされることになりました。

共通テストの出願は、現在は個別のweb出願方式になっています。今月中旬に「受験案内」がweb掲載され、来月のLHR時に「共通テスト出願説明会」を実施し、マイページの作成に入ります。特に3年生の皆さんは、大学入試センターのHP等も常に確認し、最新の情報も押さえておきましょう。

試験日	出題教科	出題科目	試験時間
第1日	地理歴史 公民	『地理総合、地理探究』 『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』 『公共、倫理』『公共、政治・経済』 『地理総合/歴史総合/公共』(注1) 『旧世界史A』『旧世界史B』 『旧日本史A』『旧日本史B』 『旧地理A』『旧地理B』 『旧現代社会』『旧倫理』 『旧政治・経済』 『旧倫理、旧政治・経済』	2科目選択 9:30～11:40 (注2) 1科目選択 10:40～11:40
	国語	『国語』	13:00～14:30
	外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』 『中国語』『韓国語』	『英語』『リーディング』 『ドイツ語』『フランス語』 『中国語』『韓国語』 【筆記】 15:20～16:40 『英語』『リスニング』 17:20～18:20 (注3)
第2日	理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』(注1) 『物理』『化学』『生物』『地学』	2科目選択 9:30～11:40 (注2) 1科目選択 10:40～11:40
	数学①	『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅰ』 『旧数学Ⅰ・旧数学A』『旧数学Ⅰ』	13:00～14:10
	数学②	『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『旧数学Ⅱ・旧数学B』『旧数学Ⅱ』 『旧簿記・会計』『旧情報関係基礎』	15:00～16:10
	情報	『情報Ⅰ』『旧情報』	17:00～18:00

■進路講演会（3年）概要

11日に3学年進路講演会が開催されました。駿台予備校から講師の先生を招き、「現役合格に向けて」と題して、今後の受験期における心構え等について話していただきました。3年生向けの話ではありますが、1・2年生の皆さんにもいずれ関わる話ですので、裏面に講演の概要をまとめました。



2026 年度進路講演会レポート：第一志望はゆずれない ～なりたい自分の未来に向かって～

1. 高い目標を設定すべき意味

他では決して得られない「成長のプラットフォーム」があるから。

- ・「数億円規模の実験機器を数名で独占できる贅沢」
- ・「各界トップクラスの教授陣による指導」
- ・「第一線の研究者として扱われる刺激」
- ・「意欲ある仲間たちが凌ぎを削り、切磋琢磨する空気」

2. 合格を引き寄せる学習習慣

現役合格者のアンケート結果によると、成績が伸びた最大の理由は「予習・復習の徹底(83.0%)」にあります。特に復習は「自分の手を動かす」ことが重要であり、授業でわかったつもりにならず、確実に「できる」状態まで高める必要があります。また、学習時間の確保も重要です。現役合格者の平均学習時間は、高3の1学期で1日約4.2時間ですが、夏休みには8.3時間、冬休みには9.6時間まで増加します。スキマ時間の活用や、朝・放課後の教室利用など、生活の中でいかに勉強時間を創出するかが鍵となります

54 日頃の学習で意識すべきこと

Q. 成績の伸びた理由は？ (現役合格者アンケートから…)

1. 予習・復習に重点をおいた 83.0%	授業中は →考えながらノートをとる!! 復習は →手を動かす!!
・予習・復習の両方に重点をおいた ⇒ 38.0% ・予習に重点をおいた ⇒ 14.0% ・復習に重点をおいた ⇒ 48.0%	
2. 授業に集中した 41.3%	
3. ノートを役立てた 20.3%	
4. 先生、予備校の人に相談した 19.0%	
5. その他 10.6%	

■ 成績が伸びない受験生の典型例

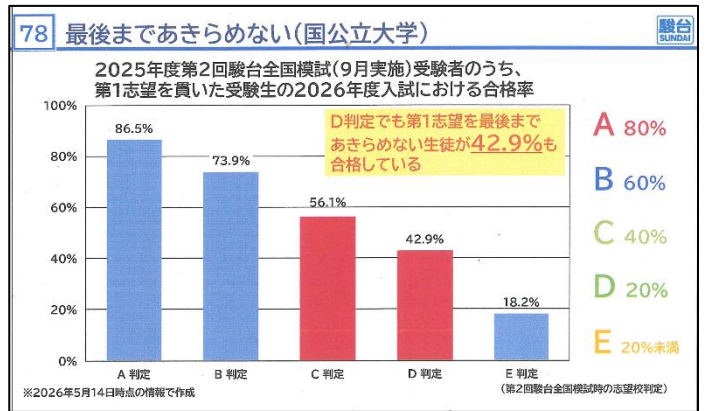
- 解答を単純に丸暗記しようとする
- 最後まで答えを出す努力なしに、解答をすぐ見る
- とにかく難問の学習にこだわる
- わかったつもりになって授業を軽視している

3. 前女生としての生活指針とメンタリティ

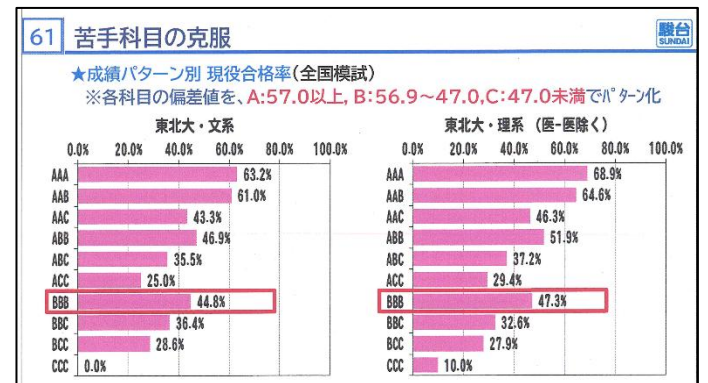
合否を分けるのは、机に向かう時間以外の「自己管理」です。

例えばスマートフォンのコントロール。睡眠時間を削り、スマホに時間を奪われることは、自ら合格を手放す行為です。スマホが「視界に入る場所」「すぐ触れる場所」「音が聞こえる場所」には決して置かないことが大事。休日の学習時間を確保するには、とにかく「朝きちんと起きること」。

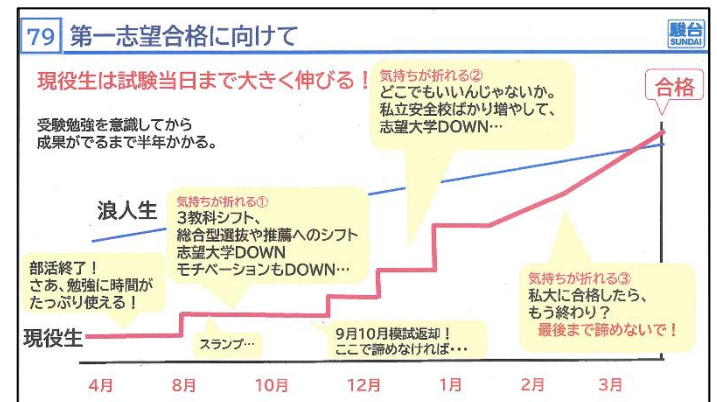
模試は判定に一喜一憂するためのものではなく、「自分の弱点を発見し、今後の対策を立てるためのツール」。D判定であっても、第一志望を貫いた生徒の42.9%が合格を勝ち取っています。逆にA・B判定であっても不合格になる例はあり、試験当日まで学力は伸び続けるという信念を持って取り組むことが大切です。



AAC型(2つ得意で1つ苦手)の生徒より、BBB型(すべてバランスよく)の生徒のほうが合格率が高い、という現状を見て、この夏何に取り組むか考えよう



年内入試で周囲が進路を決め始め、焦りを感じる時期が必ず来ます。また、現役生の成績の伸びは一定ではなくスランプを感じる時期も必ずあります。しかし、学力は試験当日の朝まで伸び続けます。最後まで高い目標を掲げ続ける受験生だけが、最高の結果を手にできるのです。



4. おわりに：高い志が、一生ものの知性を創る

「行きたい大学を目指すこと」自体が、将来大学での深い学びを行うための、一生ものの「学力」と「学問に向かう姿勢」を育みます。妥協して選んだ道には、真の成長はありません。

前橋女子高校という素晴らしい環境で共に学ぶ仲間とともに、誇りを持って日々の学習に邁進してください。